

2012年(平成24年)
11月29日
木曜日



天気	6	9	12	15	18	21(時)	
福岡	☁	☁	☁	☁	☁	☁	70 13
北九州	☁	☁	☁	☁	☁	☁	9 13
山口	☁	☁	☁	☁	☁	☁	8 13
大分	☁	☁	☁	☁	☁	☁	5 13
佐賀	☁	☁	☁	☁	☁	☁	9 13
鹿児島	☁	☁	☁	☁	☁	☁	8 14
那覇	☁	☁	☁	☁	☁	☁	10 14
大阪	☀	☀	☀	☀	☀	☀	24 40
東京	☀	☀	☀	☀	☀	☀	20 50
							16 15
							9

朝日新聞西部本社 発行所:〒803-8586 北九州市小倉北区室町1-1-1
電話:093-563-1131 www.asahi.com
福岡本部 〒812-8511 福岡市博多区博多駅前2-1-1 電話:092-411-1131

やっかい者の竹 生かせ

大学教授や企業が研究会

成長力が強く、手入れをしないと伸びすぎて里山を荒らしてしまう竹だが、道路舗装の素材、紙の原料など使い道は幅広い。大学の研究者や企業が一緒に活用方法を考えようと、「竹イノベーション研究会」を発足させた。29日には福岡市城南区の福岡大で「第1回竹フォーラム」を開く。

研究会の代表は、福大工学部の佐藤研一教授(地盤工学)。8年ほど前から、竹を砕いて道路舗装の材料に混ぜることでひび割れを防いだり、池を修復する際に、底にたまったヘドロの水分を破碎した竹で吸収して運びやすくしたりする研究に取り組んできた。林野庁の2007年の調査



竹を砕いた粉末を手にする福岡大の佐藤研一教授(福岡市城南区)

きょう福大でフォーラム

によると、福岡県の竹林面積は1万2千畝で、鹿児島、大分、山口に次ぎ第4位。放置された竹林は各地で問題になっており、たとえば八女市と九州工業大(北九州市)は2年前に竹を資源に変えるための協定を結んでいる。

研究会は、福大と竹林伐採を手がける福津市の会社など6社を発足メンバーに9月にした。伐採法や伐採後の処理法がわからない人たち、破碎処理機械を開発したものの販売先がわからない企業…。立ち往生している人たちが情報を交換し、連携する場となることを想定している。関心は高く、竹フォーラムにはすでに約120人の参加申し込みがあるという。

フォーラムは29日午後1時から福岡大中央図書館ホールで。佐藤教授や企業、自治体、大学の関係者が、各分野の取り組みを報告する。無料。問い合わせと申し込みは、福岡大工学部社会デザイン工学科、古賀千佳嗣さん(電話092・871・6631、メールbig@fukuoka-u.ac.jp)。(宮崎健二)